

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに
重点的取組 1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名		建設部 建設総務課
予算科目	会計	01 一般会計
	款	07 土木費
	項	02 道路橋りょう費
	目	02 道路橋りょう新設改良費

事業名	国・県道整備負担金	事業開始年度	平成 * 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	広島県建設事業負担金条例

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	道路利用者	日常生活及び産業活動における道路利用者の利便性が向上する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
広島県	市	広島県の事業の円滑な推進のため、地元調整などの事業調整

3 平成26年度 決算(活動実績・コスト情報・目標到達度)

実施した事業の内容（活動実績）

地区間の円滑な交通確保や近隣市町とのアクセス向上のための幹線道路である、国・県道の整備を促進した。

・事業費関連

【歳入】

○道路整備事業債（合併特例債）21,600,000円

【歳出】

○県負担金

廿日市地域

・国道433号（原）85,560,000円×1/108,556,000円

・虫道廿日市線（平良）6,440,000円×1/10644,000円

佐伯・吉和地域

・廿日市佐伯線（明石）74,520,800円×1/107,452,080円

大野地域

・栗谷大野線（毛保）18,400,000円×1/101,840,000円

管内一円

・道路改良工事43,391,600円×1/104,339,160円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	15,421,812	22,831,240		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）	14,700,000	21,600,000		
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	721,812	1,231,240		
	人件費（按分）B	0.50 人 4,243,000	0.50 人 4,287,000		
	総事業費 (A+B)	19,664,812	27,118,240		
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	市民1人当たり	167	231		
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	整備延長	m				—	廿日市佐伯線・栗谷大野線
	整備率（完成延長/全体延長） （整備計画期間内）	%				100	廿日市佐伯線・栗谷大野線